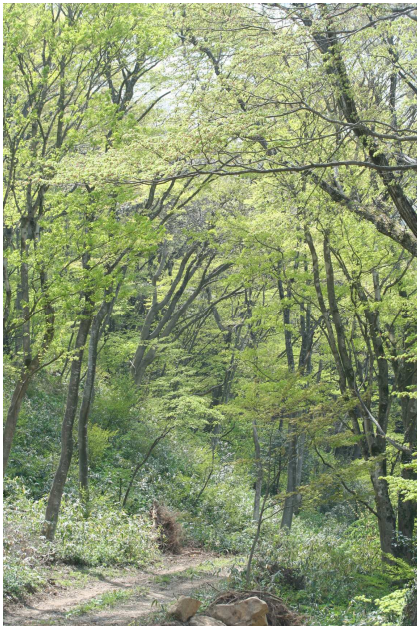


大崎市

川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ

春・夏・秋編

この「大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ」は、社会福祉法人宮城県共同募金会助成事業の助成を受けて作製されました。



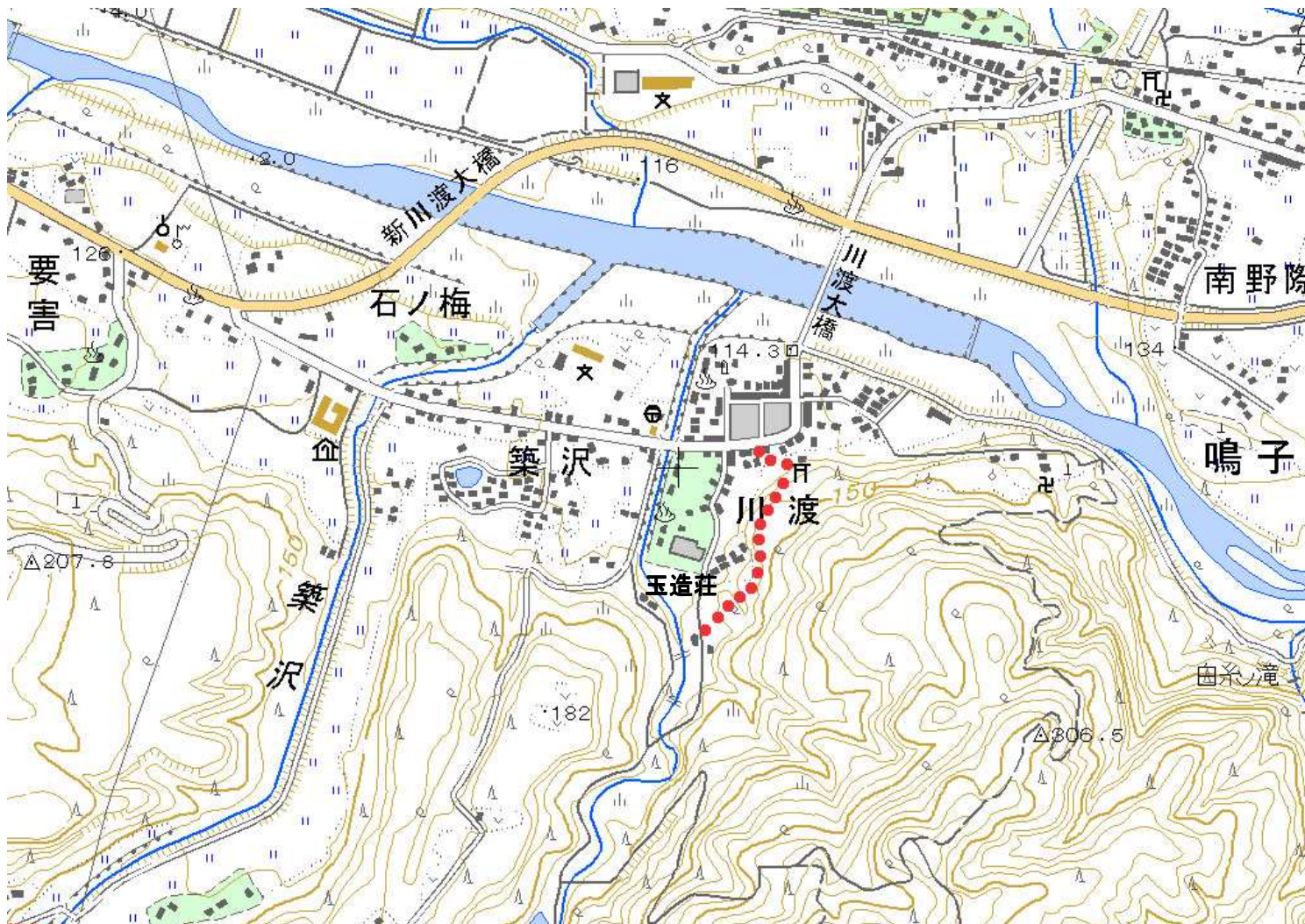
野生植物研究所

高橋和吉



大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編

- ・ 奥の細道の位置



自然遊歩道の標示



スギ林、岩場がある遊歩道

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編

自然遊歩道への入り口

川渡温泉は鳴子温泉郷の東の玄関口に当たります。

古川から国道47号線を鳴子温泉へ向かって車を走らせます。川渡温泉は鳴子温泉大口川渡地内にあります。

川渡大橋を渡り、川渡温泉玉造荘（大崎市鳴子温泉字川渡）を目指して下さい。

私は、これまで川渡温泉玉造荘に車を置き、そこから歩いて自然遊歩道に入っていますので、そのコースを案内します。



遊歩道に入ってまもなくの所に見られます。



林道の両側にシダ類がびっしり

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編

花マップご案内ルート

玉造荘に車を置き、車道に出て車で来た道の奥へと歩きます。

200mほど進むと右手に民家がありますが、その左側に自然遊歩道の入り口があります。遊歩道は一本道なので、迷う必要はありません。出口の所に温泉石神社などがあります。そこを通り抜け車道に出て車を置いた場所にもどります。1時間ほどで一周できるのですが、じっくり時間をかけて観察してはいかがでしょうか。



温泉石神社



お地蔵さん



石碑

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 1 ～



セイヨウタンポポ

【キク科】ヨーロッパ原産で世界中に帰化している多年草。セイヨウタンポポは、年間を通して花が見られる。外側の総苞片が外側に反り返る点で日本産のタンポポから区別できる。



エゾタンポポ

【キク科】日本在来のタンポポで、春だけ花が咲く。外側の総苞片は反り返らない。



ヒメザゼンソウ

【サトイモ科】林縁や道端の湿地に生え、ザゼンソウよりやや小型。6月、花序は葉よりも後に出る。広楕円形、長さ1cm。仏炎苞は暗紫褐色を帯びる。花は見つけにくい。



ヒメオドリコソウ

【シソ科】ヨーロッパ原産で世界中に広く帰化している越年生草本。茎は4稜があり、高さ30cmほど。葉は対生し心臟形でふちに鋸歯がある。花は長さ約1cmの唇形、紅紫色。茎の上部の葉腋に数個ずつ着く。



ヤマネコノメソウ

【ユキノシタ科】

林縁部や溪谷、石垣などに生える越年生の一年草。やや暗い溪谷などに明るく、浮き出たような花を咲かせて目をひく。秋に芽生え、根出葉の状態越冬する。春に花茎を出し、茎頂に径5cmほどの黄緑色の花をつける。花後、開いていた萼片が立ち上がり、猫の目を連想させる状態になる。



ムラサキケマン

【ケシ科】平地や山麓の日陰、雑木林など、やや湿った場所に生える越年生草。高さ20～50cmほどの茎の上部に、紅紫色、ときに白色の花を総状に多数つける。花は美しいが悪臭がある。毒草の一つ。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 2 ～



ニヨイスミレ

【スミレ科】山野の湿地に生える多年草。高さ5～20cmで、葉は長さ1～3cmの心形で裏面は紫色を帯びる。花は白色で1cmほどと小さく、唇弁の紫色の筋が目立つ。側弁に少し毛がある。距は特に短い。



オオタチツボスミレ

【スミレ科】山地にはえる大形のスミレ。茎は数本そう生し、果期には高さが40cmになる。4～5月、淡紫色の花をつける。



タチツボスミレ

【スミレ科】山地林内から道端、人家周辺まで生育環境は広く、日本でもっとも普通に見られるスミレの一つ。花期には高さ10cmほどだが、花後30cmほどに伸びる。



スミレ【スミレ科】

低地や丘陵、山地の日当りの良い草地などに生える多年草。花は直径1～2.5cmで色は濃紫色、淡紫色赤紫色など変化がある。



カキドオシ

【シソ科】道端、畑の畔、垣根の脇などの湿り気のある所に生える蔓性の多年草。茎は細く四角形。はじめ直立するが花後倒れて蔓状に伸びる。春、葉腋に淡紫色の唇形花をつける。



ハルジオン【キク科】

路傍や畑などに生える北アメリカ原産の帰化植物。花は頭状花。舌状花は淡紅紫色、筒状花は黄色。



大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 3 ～



オオイヌノググリ

【ゴマノハグサ科】 西アジア、中近東原産の帰化植物。茎は基部で分枝して匍匐し四方に広がる。早春、直径1cmほどの4裂した花を一つずつつける。



キラソウ

【シソ科】路傍や林縁に生える多年草。全体に毛が多く、茎、葉は地面を這って広がる。葉が地面にふたをしたようにへばりつくことからジゴクノカマノフタ（地獄の釜の蓋）とも呼ばれる。また、春の彼岸の地獄の釜が開く頃に花が咲くからと言う説もある。花は長さ1cmほどの唇形で濃紫色。



ヤマエンゴサク【ケシ科】山中の樹林下に生え、全体に弱々しい。地下に球形で径1～2cmの塊茎がある。花は4～5月に咲き青紫色。



フキ（フキノトウ）【キク科】

原野、丘陵、河岸山地の谷間などの湿った場所に群生する雌雄異株の多年草。北上するに従って大型化し、時には栽培もされている。花序は、はじめは大形の鱗片に包まれて短く、次第に花茎が伸びて30cm以上にもなる。葉柄をフキ、短い花序をフキノトウと言う。山菜の一つ。



マムシグサ【サトイモ科】

低地や丘陵の木陰に生える高さ1mほどの多年草。地下球茎から直立した1本の偽茎は白斑、又は紫斑があり、マムシの胴に似ている。偽茎の先の葉の間から緑紫色～暗紫色で、白い縦縞のある仏炎苞をもった花を咲かせる。雌株の液果は秋に紅塾する。毒草の一つ。



ウラシマソウ【サトイモ科】山地の湿った木陰や竹藪などに生える多年草で雌雄異株。仏炎苞の中の肉穂花軸の上部は紫黒色の長いむちの様な形をして筒口から出て、一旦立ってから垂れて長い糸状になる。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編

～ 春 4 ～



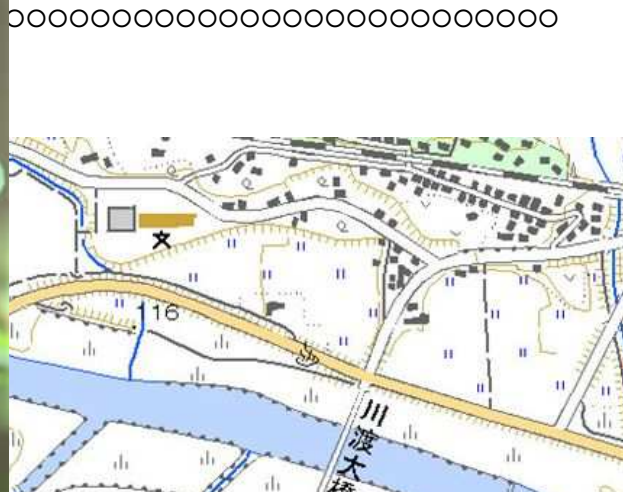
ユリワサビ

【アブラナ科】山間の溪流のほとりなどに生える多年草。根茎は細くて短い。茎は細く、後に倒れる。葉はワサビより小さい。花期は3～5月。



ヤマウグイスカグラ

【スイカズラ科】山地に生える落葉低木。花は4～6月。葉腋から出た長さ1～2cmの枝先に1稀に2個の紅色の花をつける。



ミツデカエデ

【カエデ科】山地に生える落葉高木。高さ3～5m。対生の葉は暗赤色の長い柄をもち、3出複葉。5月、長い穂状花序は20cmにもなり、花は黄色。



ツルネコノメソウ

【ユキノシタ科】落葉樹林下などの沢沿いの水湿地に生える。地上性の走出枝がある。花茎は高さ5～15cm。4～5月、茎の頂が枝分かれして、淡い黄緑色の小花を開く。



スミレサイシン

【スミレ科】山林内の木陰に生え高さ10cmほどになる多年草。地下茎は多肉質で太く分枝し、横に伸びて節が多い。4～5月、茎の間から花柄を伸ばし、左右相称で唇弁に紫色のすじがある淡紫色の花を少数つける



モミジイチゴ

【バラ科】山野に生える落葉性の小低木。前年の茎の葉腋から下部に葉をつけた花茎を出し、その頂に1個の白花をつける。核果は小さく、球形に集合してたれ下がり黄色く熟す。食べると味が良い。

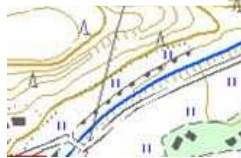
大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 5 ～



ニリンソウ

【キンポウゲ科】

山地の林縁や林内に生える多年草。群生することが多い。茎葉の間から長い花茎を伸ばし、白い花を次々と咲かせる。名は、1本の茎に通常2輪の花が咲くことに由来するが、実際には1～4輪の花をつける。若芽は食用となるが猛毒のトリカブトとよく似ており、中毒の事例も多い。



カタクリ

【ユリ科】山中に生える多年草。落葉広葉樹林の腐植質の多い林床に大群落を作ることも多い。春に20cmほどの茎を出し、紫色の花を下向きに1個つける。茎の下部に1対の葉がある。葉は淡緑色に紫色の斑紋をもつ。



ラショウモンカズラ

【シソ科】

山地のやや日当りの良い林内に生える多年草。高さ20～40cmになり、花茎は直立し、上部に紫色で大形の唇形花を1方向に横向きにつける。



コチャルメルソウ

【ユキノシタ科】

山地や谷川付近の湿地にはえる多年草。ほふく枝を出して繁殖する。4～5月、高さ10～20cmの花茎をだして少数の花をつける。花弁は5枚。淡黄緑色で羽状に細かく裂けている。



エンレイソウの群生

【ユリ科】山地の林内のやや湿った所に生える多年草。茎は高さ20～40cm。葉は卵状菱形で長さも幅も6～17cmほど。花は4～5月、茎頂に1個、やや横向きにつく

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 6 ～



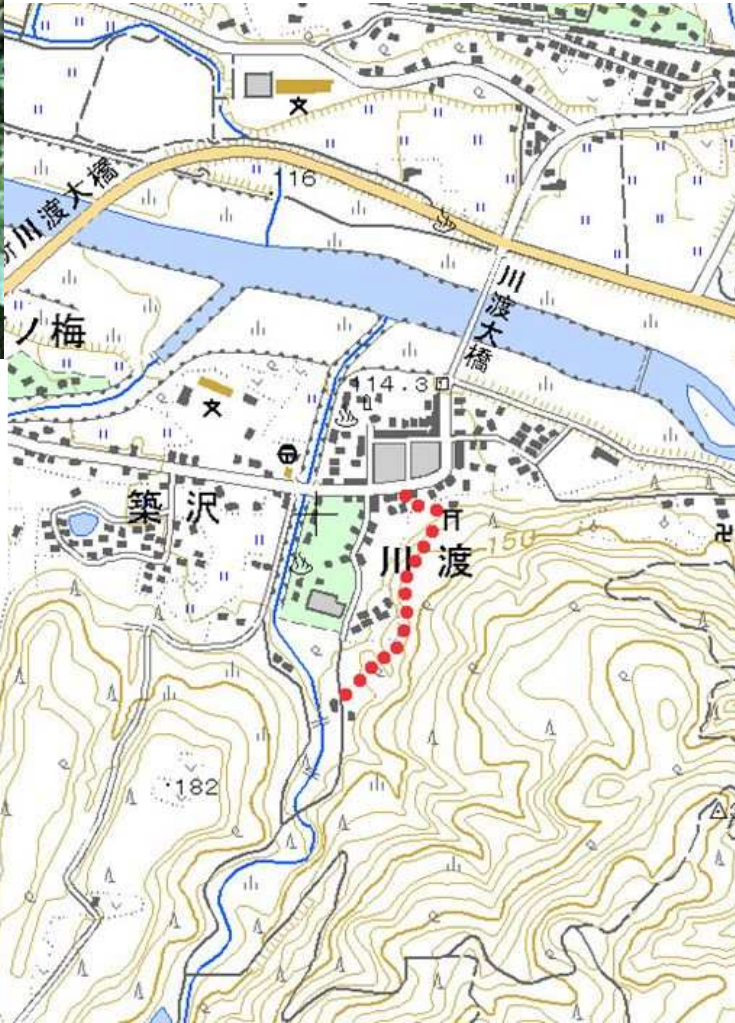
オシダ【オシダ科】 山地の林床に群生することが多い夏緑性のシダ。葉の表面は光沢がある。孢子嚢群は上部の数個の羽片につく。



リョウメンシダ【オシダ科】 常緑性のシダ。山地林下のやや湿った場所に生える。葉身の表面と裏面が同様に見えるので両面シダと呼ばれる。



ジュウモンジシダ【オシダ科】 山林、谷川ぞいの湿った林下に多い。葉身は1回羽状に分裂し最下の羽片だけが特別に大きい。十字羊歯の名は三羽片状の葉形によったもの。山菜のひとつ。



クジャクシダ【ホウライシダ科】 山中林下の地上や岩上に生える夏保性のシダ。葉柄は光沢のある黒紫色をしている。鉢植えなどにして鑑賞される。



ヤマイヌワラビ【イワデンダ科】 山地に普通に見られるシダ。根茎は斜上し、葉を叢生する。葉柄は20～50cm。中軸・羽軸ともに紅紫色を帯びる。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 7 ～



レンゲツツジ

【ツツジ科】日当たりの良い草地、山地の林縁などに生える高さ1～2mになる落葉低木。輪生状に分枝し、葉は互生し、長楕円形。葉より先に又は同時に、枝先に径5cmほどの、斑点がある。濃朱紅色～黄色の花を2～8個つける。レンゲソウのように花が輪状に集まって咲くことから名がつけられた。有毒（牛馬の忌避植物）で食べられずに残り、群落が形成されることがある。



イヌドウナ

【キク科】山地の林内に生える多年草。高さ1～2mに達する。葉柄は翼があり茎を抱く。8～9月、円錐花序の花をつける。山菜の一つ。



コンロンソウ

【アブラ科】山地や川辺の水湿地に生える多年草。茎は直立し高さ30～70cmになる。葉は長い柄があり羽状複葉。小葉は5個か7個。4～7月、総状花序の花をつける。花弁は白色。



ツクバネソウ

【ユリ科】山地の林下に生える多年草。茎は高さ15～40cm。葉は4個、茎頂に輪生する。5～8月茎頂に1花が上向きに開く。



ホウチャクソウ

【ユリ科】丘陵、原野の林下に生える多年草。茎は高さ30～60cm、多少分枝する。花は4～5月枝端しに1～3個つき下垂する。花被片は筒状に集まり白色、先は緑色を帯びる。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 8 ～



タチシオデ

【ユリ科】

山地の林縁や明るい草原などに生える蔓性の多年草。雌雄異株。数mにもなり、葉は互生し、短い葉柄の基部から巻きひげを出して他の植物にからみつく。葉腋から長い花茎の散形花序を出し、緑色の花をつける。名は「成長の初期に立ち上がるシオデ」の意味だが、後で蔓性となる。山菜の一つ。



サルトリイバラ【ユリ科】日当たりの良い原野、丘陵などに生える蔓性の低木。雌雄異株。高さ2mほどになり、茎は節毎に曲り硬く、まばらに刺があり、分枝する。葉は互生し円形～広楕円形。葉柄の基部にある2個の托葉の先端が伸びて巻きひげとなり、ほかのものに絡みつく。新枝の葉腋から散形花序を出し、淡緑色の小さな6弁花を多数つける。果実は球形で紅熟する。葉草の一つ。・・・鹿の食害で盆栽状・・・



タニギキョウ

【キキョウ科】山の木陰に生える多年草。地下茎は細長くて分枝し、先は立ち上がって10cm内外の地上茎となり多くの茎が立つ。4-8月、茎の上部より細長い柄をつき出して一個の白い花をつける。



コウゾリナ

【キク科】

日当たりの良い原野、丘陵、山地に生える大型の多年草で、切り口から白い乳液を出す。茎は高さ60～90cmほどになり多少分枝する。根茎葉と下葉は倒皮針形で柄がある。全体に淡褐色か、赤褐色の剛毛が多い。5～10月、茎の上部の葉腋から、花茎を出し先端に舌状花ばかりが集まった黄色い頭花つける。



クサノオウ【ケシ科】日当たりの良い道端、林縁などに生える越年草。長い花柄の先にケシ科特有の金属光沢のある黄色の4弁花を数個つける。



ニガナ

【キク科】

山地や丘陵地の明るい草地に生える。茎は長さ30cm内外。初夏に黄色の頭花をつけ集散花序状となる。ニガナは苦菜の意味で、茎や葉に苦味のある白い乳液を含んでいることに基づく。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 春 9 ～



イヌコリヤナギ

【ヤナギ科】

各地の原野や川辺など湿ったところに生える落葉低木。葉は細い長楕円形で無柄。雌雄異株。早春、葉よりも早く尾状花序を出す。



フデリンドウ【リンドウ科】日当たりの良い山地の林内や草地に生える二年草。茎は直立し、高さ5～10cmになる。葉は蜜に対生し、柄がなく広卵形で、葉裏は赤紫色を帯びる。春、地面が枯れ葉や枯れ草に覆われているうちから、茎頂に青紫色の花を数個つける。根生葉は小さく、ロゼット状にならないので、他のリンドウとの識別は容易。蕾の形（花の閉じた形）を筆の穂先に見立てて名がつけられた。



ズミ

【バラ科】

山地のわりと湿った場所に多く生える。高さ10mにもなる。枝の先端の葉は時々3裂、又は羽状に分裂する。花は4～5月に3～7個が短い新枝の先端に散形にでる。花弁はつぼみのときには紅色を帯びるが開けば白色になる。



フジ【マメ科】各地の山野に生え他木に巻きついて伸びるつる性の落葉低木で、観賞用として庭園にも植栽される。5～6月、枝の先端より長さ30～90cm位の総状花序をたれ下げ紫色の蝶形花を多数つける。



ハリギリ

【ウコギ科】

山地の林内に生える落葉高木。高さ25mに達する。葉は7～9浅～中烈し、掌状となる。5月頃枝先に数本の花軸が集まってつき、分枝し枝先に球形の散形花序となって多数の黄緑の小花を開く。



大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 夏 1 ～



ウワバミソウ

【イラクサ科】

山地の沢の斜面や、湿った場所などに生える多年草で群生する。高さ30～40cm。葉は長楕円形で左右不同。4～9月に緑白色の小さな花が咲く。葉を噛めごとができる。山菜の一つ。



ウリノキ

【ウリノキ科】

林内に生える落葉低木。高さ3mほどになる。葉は互生し広く薄く、3～7浅裂する。6～7月、葉腋に花柄を出しかなり大きい白色の花をつける。花弁は6個、線形で外に巻き返る。



キシヨウブ

【アヤメ科】

ヨーロッパから中近東にかけての原産で、世界各地の水湿地で観賞用に栽培されている多年草。高さ150cmほどになる。春から夏にかけて葉とほぼ同高の花茎を出し、よく分岐して先端に数個の黄色の花をつける。



サイハイラン

【ラン科】

山地の林床に生える。偽球茎は卵形。やや離れ気味に接続し、普通1個の葉をつける。5～6月、普通2個の葉がつくと30～50cmの花茎を直立し、10～20花をやや密につける。



大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 夏 2 ～



アブラチャン

【クスノキ科】山地にはえる落葉低木。高さ4m前後。早春、葉が開くよりも先に淡黄色の小さな花をつける。雌雄異株。果実は球形で直径1.5cmぐらいになる。

ニワトコ

【スイカズラ科】

日の当たる丘陵、原野、雑木林の林縁などに生える落葉低木。高さ4mほどになる。葉は対生、奇数羽状複葉で3～5対の小葉がある。3～5月若枝の先に散房花序を出し、淡黄白色の小さな5花弁をたくさんかたまっている。



クリ

【ブナ科】

山地の雑木林などに生える。高さ17m以上にもなる。6月頃開花。雌雄同株。雄花の尾状花穂は新枝の下部の葉腋につく。雌花は雄花の花穂の下部に着く。



ヤマグワ【クワ科】

浅い山や丘陵に生える雌雄異株又は同種の落葉高木。高さ10mにもなる。葉は互生し、鋸歯があり表面はざらつく。片側に深く切れ込むなど変化も多い。新枝の下部から穂状花序を垂らし淡い黄色の裸花を多数つける。花後に宿存萼が肥大してクワゴとなる。



ヤマボウシ

【ミズキ科】山地に生える落葉高木。4枚の白い花弁のように見えるのは総苞片で、中心部に花弁4枚、おしべ4本、めしべ1本持つ多数の小花が集まる。秋に集合果は赤熟し、食べられる。



マルバダケブキ

【キク科】

山地の草原や林下に生える多年草。茎は高さ40～120cm。根出葉は長い柄があり、葉身は腎円形で長さ30cm、幅38cmに達する。花は7～8月。5～9個の頭花を散房状につける。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 夏 3 ～



エンレイソウの果実

【ユリ科】

山地の林内のやや湿った所に生える多年草。茎は高さ20～40cm。葉は卵状菱形で長さも幅も6～17cm。花は4～5月、茎頂に1個、やや横向きにつく。液果は3稜のある球形で熟すと甘い。



マタタビ

【マタタビ科】

山地に生える雌雄雑居性の蔓になる落葉植物。若枝は蔓状に長く伸びて褐色。枝の上部の葉は表面が白色に変わる特性がある。6～7月、葉液に梅の花に似て白色5弁の芳香のある花を1～3個つける。花後、表面が平滑で長楕円形で先が尖った液果を結び黄熟する。果実にマタタビバエが寄生したものはほぼ球形で凸凹状になる。猫にマタタビというように猫の好物でもあり、猫の薬でもある。



ヒメコウゾ

【クワ科】山地に自生する落葉低木。高さ2～5mになる。雌雄同株。製紙に利用する。



ウツギ

【ユキノシタ科】山地に生える落葉低木。樹皮は次々とはげ、若い枝には小さな星状毛がある。葉は対生、両面に星状毛が生えてざらざらしている。5～6月に円錐花序を出して多くの白い花を咲かせる。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 秋 1 ～



ユウガギク

【キク科】山地の湿った草原や道端に生える多年草。地下茎を引き茎は高さ40～150cm。よく分枝する。葉は卵状長楕円形または長楕円形で長さ7～8cm、幅3～4cm。薄く鋭浅裂するか羽状中裂する。花は7～10月、頭花は径2.5cm。舌状花は白色で多少淡青紫色を帯びる。



ウワバミソウ

【イラクサ科】山地の沢の斜面や、湿った場所などに生える多年草で群生する。高さ30～40cm。葉長楕円形で左右不同。4～9月に緑白色の小さな花が咲く。葉裏はめもごができる。山菜の一つ。



ソクズ

【スイカズラ科】人家の付近に生える粗大な多年草。地下茎をひいて繁殖する。茎は直立し高さ1～1.5m。葉は5～7小葉からなる。7～8月大型の散房花序に多数の小さな花をつける。



ミゾソバ

【タデ科】水湿地に生える1年草。茎の下部は地をはい、節から根を出し、上部は直立し、下向きの刺毛がある。高さ30～100cm。葉は卵状鉾形で先は鋭尖形、基部は広心形。花期は7～10月。総状花序は密な頭状をなして頂生する。



オクトリカブト

【キンポウゲ科】林中、林縁、草原などに生える。高さ18～80cm。花序は数房状総状で8～10月にかけて紫色の花が咲く。

大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 秋 2 ～



ミヤマイラクサ

【イラクサ科】

深山の湿った林の下や谷あい、岩礫地に生える高さ1m内外の大形の多年草で時に群生する。根茎は堅い木質、茎は粗大で直立し緑色で葉とともに蟻酸を含んだ鋭い刺毛があり皮膚に触れると激痛を感じる。7～9月、茎の上部から一本の穂状花序を出し、緑色の細長い小さな雌花を多数つける。雄花は葉の腋から円錐花序を出し白色の小花を多数つける。東北地方の代表的山菜でもある。



ツリフネソウ

【ツリフネソウ科】山麓の水辺に生える1年草。茎は高さ50～80cmで花序を除き毛がなく、やや赤色を帯び、節が隆起する。花は8～10月、花序は葉液から斜上し、花軸に紅紫色の突起毛がある。花は紅紫色。



オオバユリ

【ユリ科】

山麓や谷間の木陰、草地、藪などに生える。高さ2m以上にもなる大形の多年草。地下の鱗茎は根生葉の柄の基部が大きくふくれて重なったもので、白色卵形で若い株だけあり、茎を立てたものは消失し株の横に新しい小さな鱗茎がつく。葉は茎の中途に数枚かたまって互生し、広楕円状心臟形で先端は鋭く尖り長い柄がある。7～8月、茎の先端に花序を出し緑白色でテッポウユリに似た6弁花を10～20個つける。花の時期に葉(歯)がないので姥という名がついた。



ハナタデ

【タデ科】

山野の林下に生える1年草。茎の下部は横にはうか斜上し、上部は直立、枝が多い。高さ30～50cm。葉は薄く卵形～長卵形、先は尾状に細まり、基部はくさび形。表面には1対の丸い黒斑がある。8～10月、総状花序はかなりまばらに花をつけ、細長く伸びる。



大崎市川渡温泉自然遊歩道の四季・花マップ春・夏・秋編 ～ 秋 3 ～



タマブキ

【キク科】

山の湿地の木陰に生える多年草。茎の高さ50～140cm。花は8月。頭花は総状円錐花序に多数着く。



ヤクシソウ

【キク科】日当たりの良い山地のやや乾いたところに多い越年草。高さ30～120cm。よく分枝する。根出葉はさじ形で柄があるが開花時には枯れる。茎葉は下部で茎を抱く。8～11月枝の先に多数の花をつける。



アイバソウ

【カヤツリグサ科】

平地や山地の湿地に生える多年草。茎は高さ1～1.5m。堅くて、ふくれた3稜形をなし5～8節がある。夏～秋にかけて花をつける。



タケニグサ

【ケシ科】

丘陵、原野、山の荒地で日当たりの良い場所に生え、直立した大形の多年草で、茎の高さ1～2mにもなる。茎は、中空の円柱形、葉は有柄で互生し、広卵形で掌状に中裂し、へりには浅い切れ込みがあり、裏面は白色で細かい毛が密生している。茎、葉の表面は平滑であり切り口から黄色い乳液を出す。6～8月、茎の先端で枝分かれし、大きな円錐花序を出し、白色の小花を多数つける。